

H30年産大麦情報 第1号

平成29年9月28日
白山石川営農推進協議会
石川県農業共済組合
松任市農業協同組合

大麦栽培スタートまでの3大ポイント

目標単収：450kg/10a

- ① 湿害回避・排水対策
- ② pH 矯正と適正な施肥
- ③ 適切な播種作業

大麦はスタートダッシュが重要!!
苗立ちと初期生育の確保に努め、
品質向上と増収を目指しましょう!

圃場の準備

● 排水対策の徹底

- ・ 周辺の水田や用水からの漏水による湿害を防止するため、額縁排水溝を設置し、圃場を乾かし、碎土率を高める。
- ・ 圃場内は、縦方向に数本（3m～5m間隔）、排水溝を入れて、額縁排水溝に連結させ、排水を良くする。（排水の悪い圃場では3m以内が望ましい）
- ・ 排水性を高めることで、碎土率が向上し、出芽・苗立ちや除草剤の効果が高まります。

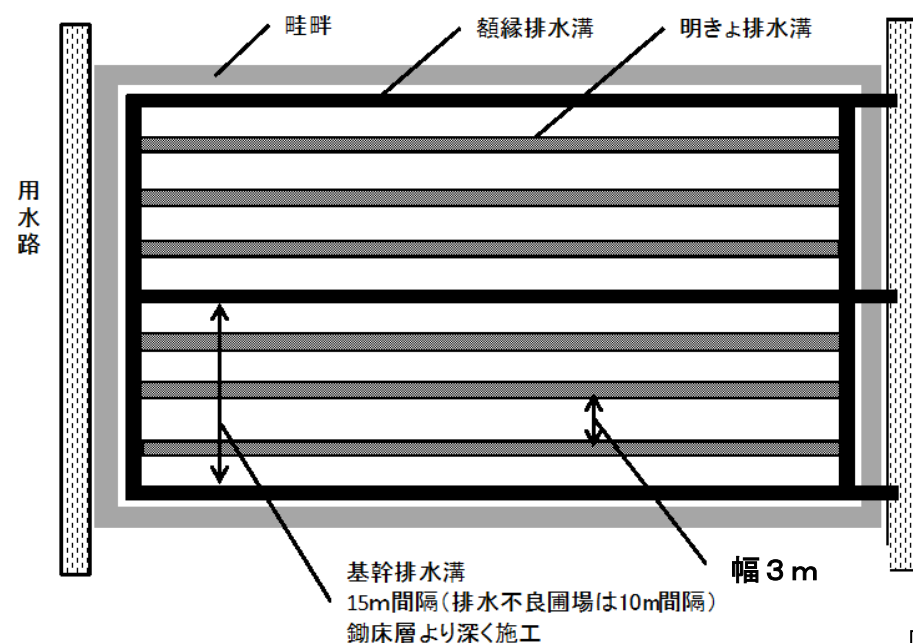


図 排水路の施工例



幅3m以内の排水溝の設置



トレンチャーによる額縁排水溝の設置

播種・施肥

● 土壤改良資材の散布

大麦は中性（pH6～6.5）の土壤が適するので、耕起前に「苦土石灰」または「BB転作エース」を施用し、大麦に適した土壤とする。

※参考：平成27年JA松任管内 pHの平均値5.8

項目	肥料名	施用時期	施用量(kg/10a)
pH矯正	苦土石灰 または BB転作エース	耕起前	100

● 種子消毒・・・対象病害：裸黒穂病、雲形病

薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
ベンレートTコート	乾燥種子量の0.5%粉衣 (7kg当たり35g)	は種当日	1回

● 播種時期と播種量

播種時期：10月10～20日

※但し、播種作業は土壤条件を優先すること。

播種量：7kg/10a

※適期に遅れる場合は1kg程度増やすこと。

播種方法	条間	播種深さ	播種量	畦幅
条播	25～30cm	3cm	7kg/10a	3～5m (水はけの悪い圃場は3m以内)

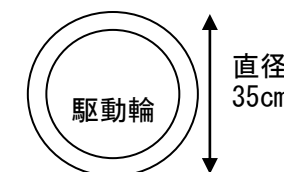
※播種前の耕起作業

碎土率が劣ると出芽・苗立ちや除草効果が低下するので、**トラクターは低速走行・ロータリー回転数を上げて作業すること。**

※ 播種機（ドリル播種）の播種量の調整

播種量	条間	1m当たりの種子繰り出し量
7kg/10a	30cm	2.1g
	28cm	2.0g
	26cm	1.8g

※種子量2.1gは、約60粒となります。



直径：35cmの場合
0.35 × 3.14 × 5 回転 = 5.50m
落下種子量 ÷ 5.50m = 1m当たり種子量

- ・ 播種機を少し持ち上げ、落下部に皿などをあてて駆動輪を5回程度、回転させる。
- ・ 駆動輪の直径を測り、円周率（3.14）と回転させた数をかけあわせて駆動距離を算出する。
- ・ 落下した種子量を、駆動距離で割れば、1m当たりの播種量が求められる。
- ・ 作業時は駆動輪のスリップ等による誤差があるので、種子の消費量を見て修正する。

裏面もご覧ください

●基肥（基肥一発肥料体系）

肥料名	施用時期	施用量	備考
BB大麦一発くん (30-6-10)	播種時	45kg/10a	地力の低い圃場での増施は、 50kg/10aを上限とする。

除草剤散布

剤型	薬剤名	使用時期	使用量 (10a当たり)	希釈 水量	対象雑草
粒	トレファノサイド 粒剤2.5	播種後発芽前 播種後から出芽 前までの間 (約1週間) に必ず散布を 行う。	4kg	-	一年生雑草 (77°ナ科等は除く)
液	トレファノサイド乳剤		250ml	100%	一年生イネ科雑草 (雑草発生前)
粒	クリアターン細粒剤F		4~5kg	-	一年生雑草 (雑草発生前)
液	クリアターン乳剤		500~700ml	100%	
粒	リベレーターG		播種後~ 麦2葉期まで	4~5kg	-
液	リベレーター フロアブル	播種後~ 麦3葉期まで	60ml	100%	

- ・除草効果を高めるため、耕起時の砕土はできるだけ細かくしておく。
- ・播種直後の土が湿った状態で散布すると効果が高い。
- ・土壌が極端に乾燥している場合、液剤散布では、希釈水量を多めにする。
- ・散布直後に雨が予想される場合は、薬害回避のため降雨後に散布する。

排水溝の補修

- ・播種作業で排水溝が埋まる場合が多いので、必ず排水溝の補修を行い、円滑に排水ができるようにしておく。



大麦栽培の作業の流れ

